



小林 龍さん

(鳥越1区)

昭和48年2月6日生

※大留蒲鉾(株)※

※学校は 第一経済大学経済学部貿易学科を3月卒業

※仕事は 宮崎県出身ですし、山口県での就職は考えてもいませんでしたが、一度会社を見にきた時、環境もよく人も親切で、こちらに来るのに抵抗はありませんでした。現在は、包装紙のデザインの作製や業者への依頼、毎年開催している蒲鉾工房のイベント企画に携わっています。

※趣味は 高校時代は硬式野球をやっていました。今はソフトボールをやっています。それとゴルフ、長門に来てまだコースに出たことはありませんが、打ちっ放しにはよく行きます。頭を使うより、身体を使う方が好きですね。

※好きな言葉は なかなか浮かんできませんが、「過ぎたことはくよくよししない」ことを、念頭においています。引きずるタイプなので、気持ちの切り替えを早くしようと思っています。

※気をつけていることは 仕事をする上で、できないことをできないままにしないこと。先輩に教えてもらいながら、あきらめずに食らいついてでも、やり遂げていきたいと思います。

※結婚は 友人が結婚するのを見て、いずれはするんだろうなと思うくらいで、まだ先のことです。やさしくて、細身でスポーツ好きの人がタイプです。只今、恋人募集中です。よろしく！

※どんな街を 私の故郷同様、田舎だと思うが、海はきれいだし、まわりの人が親切で、住んでいて快適な街です。ただ、デパートやレンタルショップがもっとあれば便利ですね。

※自由に一言 早く先輩に追いつけるように、そして小林なら大丈夫と言われるように、頑張りたいと思います。

年末の贈答品には、ぜひ大留蒲鉾をよろしくお願いします。

交通ルールを守り安全に 秋の交通安全健民運動



秋の交通安全健民運動期間中の9月29日、長門警察署前で街頭キャンペーンが行われ、藤田市長やミスター交通安全を始め70人の参加者は、街頭で「反射材」などを手渡し、安全運転を呼びかけました。これに先立ち藤田市長は「一人ひとりの心がけが交通事故を防ぎます。交通安全はみんなの願いです」と訴え、参加者とともに街頭に立ちました。

水産高校実習船で 青海島小が体験航海



10月3日、青海島小学校5・6年生の児童(22人)と保護者は、水産高校の実習船「青海丸」に乗船し、海上からふるさとを眺める体験航海をしました。「ふるさとの素晴らしさを海から見つめ直そう」との主旨で行われたもので、協力した藤山水産高校長は「この体験を通して船を好きに、そして海を大好きになってください」と歓迎の挨拶。海の男と女に早変わりした児童は、勇ましく乗船していました。

応援団 気になります長門

(28)



兵庫県伊丹市

後藤 洋子さん

響きのいいタイトルに、迷わずペンを取ることができました。あれは3年前の秋、「海が見たい」夫の希望で長門の青海島に行き、その美しさに感激した思いを書いてみました。

長門の町って、どんな町。

恋する人と歩く町、青海島に来てみれば、シネラマビジョンに酔いしれて、このまま誰かに甘えてみたい、そんな心になれる町。

長門の町って、どんな町。

幼子連れて尋ねれば、鯨の親子物語。母と我が子の絆は強い。

長門の町って、どんな町。

旅情豊かな湯本町。さびを求めて尋ねれば、茶の湯恋しい萩焼の里。

ドラマチックな出会いがほしい、こんな気分になれる町。

今後ともお役に立てればと思っています。